

No.59

2007年10月1日号

各チームの購読料はチーム登録料に含まれています。定価(一部100円)

(社)熊本県サッカー協会だより

発行/熊本県サッカー協会
〒860-0831
熊本市八王寺町9-60
TEL 096-334-5565
FAX 096-334-5568
発行者/◎広報記録委員会
石丸 捷一

第31回 全日本少年サッカー大会

ヴェルディ(東京都代表)優勝、本県代表ユナイテッドは3位になる

第31回全日本少年サッカー大会は8月4日(土)〜11日(土)までJヴィレッジ及び東京・西が丘サッカー場で行われた。都道府県大会を勝ち進んだ各代表47チームと前年度優勝チームの1チームの合計48チームが参加し、熊本県からは熊本ユナイテッドSCが参加した。まず8月4日〜7日までは6チームで1グループが作られ、グループ内でリーグ戦を行う1次リーグが行われた。

熊本ユナイテッドSCはCグループに属し、雄和73FC(秋田)、宮崎スポーツ少年団(宮崎)、竜洋FC(静岡)、月が丘スポーツ少年団(岩手)、高山FC(岐阜)と戦い、5戦全勝で決勝トーナメントに進んだ。

8月8日からの決勝トーナメントには、各リーグの上位2チーム(計16チーム)が進出した。

トーナメントの初日は一回戦と準決勝があり、一回戦の相手は大阪府代表のスポーツネットと対戦、この試合は前半19分にスポーツネットが先制し、0対1でハーフタイムを迎えた。

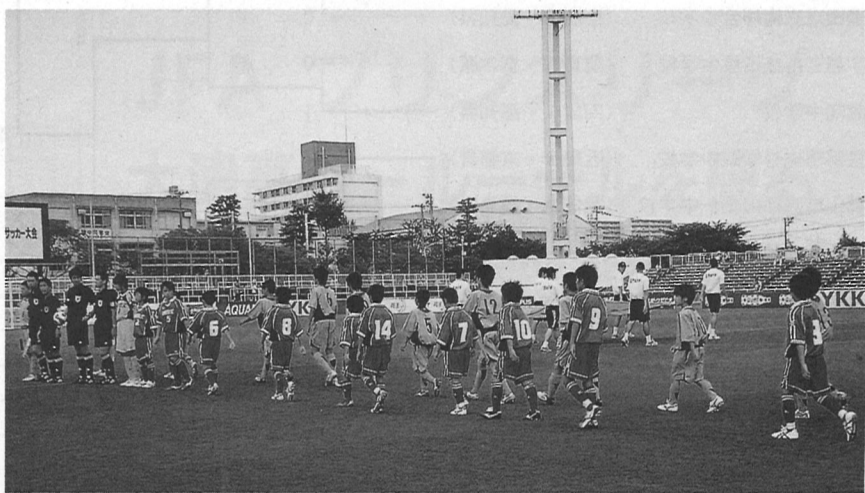
後半開始早々ユナイテッド大塚が得点を決め同点に。その後松田が2点を決め3対1で逆転勝利を収めた。続く準々決勝も群馬県代表のFC前橋を2対1で下した。

決勝大会 決勝トーナメント															
Aグループ 1位 江南SS (埼玉)	0-0 (PK 3-5)														
Hグループ 2位 高田FC (奈良県)		0-0 (PK 3-4)													
Bグループ 1位 鹿島アントラーズ (茨城県)	2-0														
Gグループ 2位 今三カナルヴァル (栃木県)			1-0												
Cグループ 1位 熊本ユナイテッドSC (熊本県)	3-1														
Fグループ 2位 スポーツネット (大阪府)			2-1												
Dグループ 1位 FC前橋 (群馬県)	2-0														
Eグループ 2位 FCアミーゴ (鳥取県)															
Eグループ 1位 USスポーツクラブ (山梨県)	0-1														
Dグループ 2位 コンサドーレ札幌 (北海道)			0-3												
Fグループ 1位 ヴェルディ (東京都)	9-0														
Cグループ 2位 宮崎SSS (宮崎県)															
Gグループ 1位 アストロン (福島県)	0-3														
Bグループ 2位 四日市JFC (三重県)			0-1												
Hグループ 1位 飛松FC (鹿児島県)	1-3														
Aグループ 2位 マリノス追浜 (神奈川県)															

翌日の9日は東京・西が丘で行われた。準決勝に駒を進めたのは、ヴェルディ(東京)、マリノス追浜(神奈川)、鹿島アントラーズ(茨城)と熊本県代表のユナイテッド。

ユナイテッド以外はJリーグの下部組織。ユナイテッドの相手は鹿島アントラーズ。前半12分に1点を取られ、それが決勝点となり0対1でユナイテッドが敗れる。決勝はヴェルディ対鹿島アントラーズ。

前後半を終わって0対0のまま、延長戦の結果2対0でヴェルディが優勝を果たした。



対戦相手と仲良く入場



準決勝の対戦チーム鹿島アントラーズと共に



本県代表のユナイテッドは3位になる

第31回全日本少年サッカー大会 ~決勝大会 1次ラウンド~															
Aグループ	大分トリニータ	黄志少年SC	南万代FC	鶴山JSC	江南SSS	マリノス追浜	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1大分トリニータ(大分県)	5〇0	6〇0	1〇0	0〇0	0〇2	10	3	1	1	10	12	2	3		
2黄志少年SC(和歌山県)	0〇5	1〇0	0〇5	0〇16	1〇5	3	1	0	4	-29	2	31	5		
3南万代FC(新潟県)	0〇6	0〇1	0〇0	0〇2	0〇1	1	0	1	4	-10	0	10	6		
4鶴山JSC(岡山県)	0〇1	5〇0	0〇0	0〇3	0〇1	4	1	1	3	0	5	5	4		
5江南SSS(埼玉県)	0〇0	16〇0	2〇0	3〇0	3〇0	13	4	1	0	24	24	0	1		
6マリノス追浜(神奈川県)	2〇0	5〇1	1〇0	1〇0	0〇3	12	4	0	1	5	9	4	2		
Bグループ	鹿島アントラーズ	ベガルタ仙台	四日市JFC	パティFC	大北ヴァレンチ	グランパスエイト	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1鹿島アントラーズ(茨城県)	2〇1	0〇0	2〇1	2〇1	1〇1	11	3	2	0	3	7	4	1		
2ベガルタ仙台(宮城県)	1〇2	1〇4	0〇3	0〇1	0〇1	0	0	0	5	-9	2	11	6		
3四日市JFC(三重県)	0〇0	4〇1	1〇0	0〇1	1〇0	10	3	1	1	4	6	2	2		
4パティFC(福岡県)	1〇2	3〇0	0〇1	1〇0	0〇2	6	2	0	3	0	5	5	5		
5大北ヴァレンチ(沖縄県)	1〇2	1〇0	1〇0	0〇1	2〇1	9	3	0	2	1	5	4	3		
6グランパスエイト(愛知県)	1〇1	1〇0	0〇1	2〇0	1〇2	7	2	1	2	1	5	4	4		
Cグループ	熊本ユナイテッドSC	雄和73FC	宮崎SSS	竜洋FC	月が丘SSS	高山FC	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1熊本ユナイテッドSC(熊本県)	5〇0	2〇0	2〇0	4〇1	2〇1	15	5	0	0	13	15	2	1		
2雄和73FC(秋田県)	0〇5	0〇1	0〇3	2〇0	0〇2	3	1	0	4	-9	2	11	6		
3宮崎SSS(宮崎県)	0〇2	1〇0	0〇0	3〇3	4〇0	8	2	2	1	3	8	5	2		
4竜洋FC(静岡県)	0〇2	3〇0	0〇0	1〇2	0〇1	4	1	1	3	-1	4	5	5		
5月が丘SSS(岩手県)	1〇4	0〇2	3〇3	2〇1	1〇0	7	2	1	2	-3	7	10	3		
6高山FC(岐阜県)	1〇2	2〇0	0〇4	1〇0	0〇1	6	2	0	3	-3	4	7	4		
Dグループ	ヴィッセル神戸	高知南FC	コンサドーレ札幌	FC前橋	平塚SSS	サンフレッチェ	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1ヴィッセル神戸(兵庫県)	7〇0	0〇1	0〇1	7〇0	3〇0	9	3	0	2	15	17	2	3		
2高知南FC(高知県)	0〇7	2〇3	0〇3	1〇0	0〇1	3	1	0	4	-11	3	14	5		
3コンサドーレ札幌(北海道)	1〇0	3〇2	0〇2	5〇0	3〇0	12	4	0	1	8	12	4	2		
4FC前橋(群馬県)	1〇0	3〇0	2〇0	5〇0	1〇0	15	5	0	0	12	12	0	1		
5平塚SSS(福岡県)	0〇7	0〇1	0〇5	0〇5	0〇2	0	0	0	5	-20	0	20	6		
6サンフレッチェ(広島県)	0〇3	1〇0	0〇3	0〇1	2〇0	6	2	0	3	-4	3	7	4		
Eグループ	玉湯SC	USスポーツクラブ	湘南ベルマーレ	FCアミーゴ	丸亀FC	アルチ富士FC	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1玉湯SC(島根県)	1〇1	0〇3	0〇1	0〇0	0〇2	2	0	2	3	-6	1	7	6		
2USスポーツクラブ(山梨県)	1〇1	2〇1	1〇1	2〇1	0〇0	9	2	3	0	2	6	4	1		
3湘南ベルマーレ(神奈川県)	3〇0	1〇2	1〇1	0〇0	4〇0	8	2	2	1	6	9	3	3		
4FCアミーゴ(鳥取県)	1〇0	1〇1	1〇1	1〇0	0〇0	9	2	3	0	2	4	2	2		
5丸亀FC(香川県)	0〇0	1〇2	0〇0	0〇1	0〇0	3	0	3	2	-2	1	3	5		
6アルチ富士FC(富山県)	2〇0	0〇0	0〇4	0〇0	0〇0	6	1	3	1	-2	2	4	4		
Fグループ	青森FC	スポーツネット	宮前SC	ヴェルディ	トップストーン	徳島ヴォルティス	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1青森FC(青森県)	0〇5	2〇1	0〇6	1〇1	1〇2	4	1	1	3	-11	4	15	5		
2スポーツネット(大阪府)	5〇0	7〇0	1〇1	6〇1	4〇0	13	4	1	0	21	23	2	2		
3宮前SC(愛媛県)	1〇2	0〇7	0〇4	1〇1	2〇0	4	1	1	3	-10	4	14	4		
4ヴェルディ(東京都)	6〇0	1〇1	4〇0	14〇0	3〇0	13	4	1	0	27	28	1	1		
5トップストーン(長野県)	1〇1	1〇6	1〇1	0〇14	2〇1	5	1	2	2	-18	5	23	3		
6徳島ヴォルティス(徳島県)	2〇1	0〇4	0〇2	0〇3	1〇2	3	1	0	4	-9	3	12	6		
Gグループ	野洲JFC	FCソルセウ	アストロン	今三カナルヴァル	東岐波FC	ヴァレンティア	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1野洲JFC(滋賀県)	0〇0	2〇3	1〇2	0〇0	0〇1	2	0	2	3	-3	3	6	5		
2FCソルセウ(京都府)	0〇0	0〇1	0〇2	0〇0	0〇2	2	0	2	3	-5	0	5	6		
3アストロン(福島県)	3〇2	1〇0	2〇0	1〇2	1〇0	12	4	0	1	4	8	4	1		
4今三カナルヴァル(栃木県)	2〇1	2〇0	0〇2	1〇0	2〇2	10	3	1	1	2	7	5	2		
5東岐波FC(山口県)	0〇0	0〇0	2〇1	0〇1	3〇0	8	2	2	1	3	5	2	3		
6ヴァレンティア(佐賀県)	1〇0	2〇0	0〇1	2〇2	0〇3	7	2	1	2	-1	5	6	4		
Hグループ	飛松FC	熊城SSS	山形JFC	長崎ドリームFC	FC若葉	高田FC	勝点	勝	分	敗	得点	失点	順位		
1飛松FC(鹿児島県)	7〇0	2〇0	6〇0	0〇1	3〇1	12	4	0	1	16	18	2	1		
2熊城SSS(石川県)	0〇7	1〇2	1〇0	0〇3	0〇6	3	1	0	4	-16	2	18	5		
3山形JFC(山形県)	0〇2	2〇1	0〇0	2〇1	0〇2	7	2	1	2	-2	4	6	4		
4長崎ドリームFC(長崎県)	0〇6	0〇1	0〇0	0〇3	0〇3	1	0	1	4	-13	0	13	6		
5FC若葉(千葉県)	1〇0	3〇0	1〇2	3〇0	1〇1	10	3	1	1	6	9	3	3		
6高田FC(奈良県)	1〇3	6〇0	2〇0	3〇0	1〇1	10	3	1	1	9	13	4	2		

第38回全国中学校サッカー大会は平成19年8月20日(月)から4日間の日程でJヴィレッジ(福島県)で「みちのくの緑に映える華になれ!」テーマのもと開催された。

九州代表のルーテル学院(熊本)は一回戦で東北代表の一関市立桜町中学校(岩手)と対戦し、攻撃陣が活躍し9対0で大勝した。

二回戦では関東代表・松戸市立六実中学校(千葉)に3対0で決勝した。

三回戦では関東代表で常連校の暁星中学校に1対0で競り勝ち、準決勝へと進んだ。

準決勝は東北代表・強豪の青森山田中学校(青森)と対戦した。

前半、ルーテルはタイミングよく動き出しポジションチェンジを繰り返し、スペースをうまく使って攻め、ペースをつかんだが無得点に終わった。

後半、ルーテルは⑩村上をトップに起用し決定的な場面を作ったが粘り強い青森山田中の守備陣が死守する。

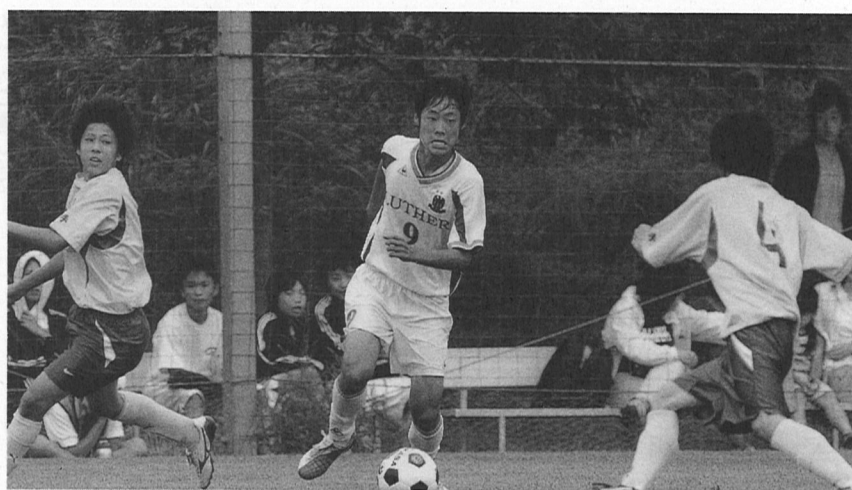
延長でもルーテルは攻撃したが、決着せずPK戦となった。

PK戦では青森山田のGKの好セーブで4対3で惜敗した。

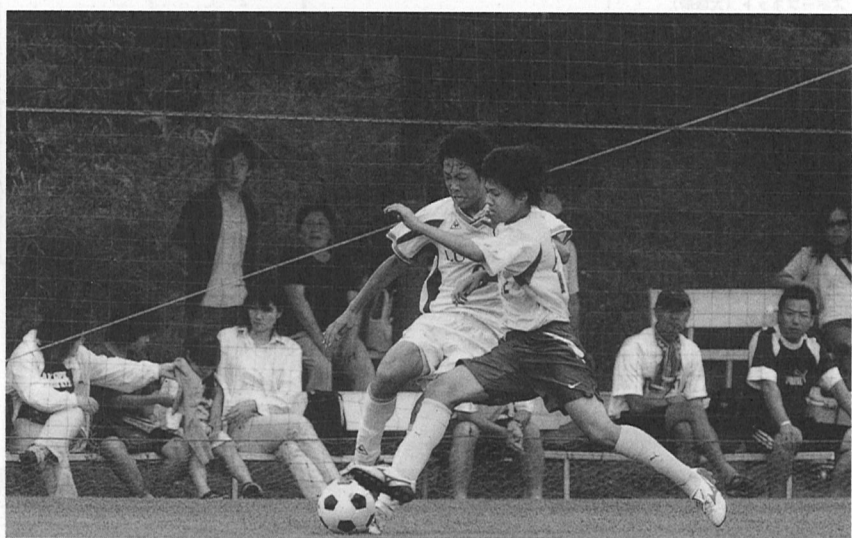
2年ぶり3度目の全国制覇を目指したルーテルの挑戦が終った。

しかし、全国大会ベスト3の今回の快挙はルーテル学院サッカー部の歴史に新しくしつかりと刻まれた。

優勝 日章学園中学校



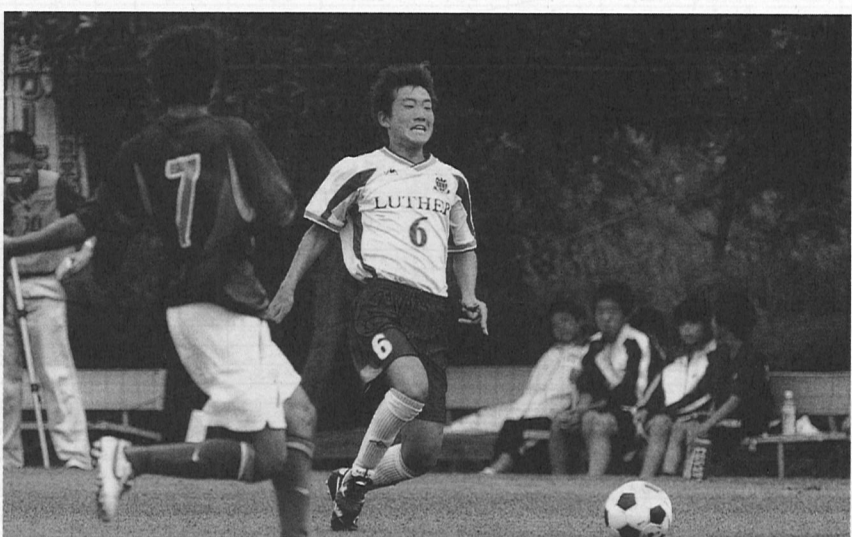
1 回戦一関市立桜町中学校と対戦



準決勝戦、青森山田中学校と



3位になるルーテル学院中学校のイレブン



第87回 天皇杯全日本サッカー選手権大会 熊本県予選

ロッソ熊本3年連続優勝(初戦は石川県代表と)

天皇杯全日本サッカー選手権大会熊本県予選をかねた第11回NHK杯熊本県サッカー選手権大会は、最終日9月2日水前寺競技場で行われ、日本フットボールリーグで決勝から登場のロッソ熊本が大学1位の熊本大学を7-2で下し、ロッソ熊本として3年連続3度目の優勝を飾り、本大会に進むことが決定した。熊本県内だけで見ると、強い一言につきるが、他県代表と当たってみるとどうだろうか。

協会では今、動員に苦労している。ロッソ熊本がJ2に上がるためには成績もさることながら、ホーム有料入場数も問題になっている。それにはロッソ熊本に地元選手がいないことも一因となっている。

地元選手がいれば、その選手又は出身校などに働きかけて、父兄など多数の観客が来るであろう。それが県下の活性化につながると筆者は思う。

一億円集めるのに苦労はいらぬ。一万円×一万人で一億という数になる。

ロッソ熊本よ、熊本の活性化のためにぜひJ2へ上がってほしいと願っているのは、私だけではないでしょう。

又ロッソ熊本の選手に言いたいのは、今迄は和気、これからは本気でいこう。何事も成せば成る。

第87回 天皇杯全日本サッカー選手権大会
熊本県予選

口 ッ ソ 熊 本	大 津 高 校	F C K マ リ ー ゴ ー ル ド	熊 本 学 園 大 学	熊 本 大 学	熊 本 国 府 高 校	熊 本 教 員 蹴 友 団
J F L	高 校 一 位	社 会 人	大 学 二 位	大 学 一 位	高 校 二 位	九 州 リ ー グ



ユニクロサッカーキッズ in KKWING

期日：2007年9月25日
場所：KKWING
〔募集チーム数〕
午前の部（60チーム）
8：30受付開始→9：30開
会式→12：00終了予定
午後の部（60チーム）
12：00受付開始→13：00開
会式→15：30終了予定
〔申込方法〕
申込書に必要事項をご記
入の上、フェスティバル事
務局までFAXにてお申込
ください。
〔申込用紙入手方法〕
1、熊本県サッカー協会
ホームページよりプリン
トアウト
2、熊本県内のユニクロ店
舗にも設置されています
〔申込締切〕
2007年11月2日（金）必着
参加決定チームには事務
局よりフェスティバル詳細
をご連絡いたします。
〔応募／問合せ先〕
社団法人熊本県サッカー協
会「ユニクロサッカーキッ
ズ in KKWING」
事務局
〒860-0831 熊本
県熊本市八王寺町9-60
☎096-334-5565
☎096-334-5568
お問合せ時間 月～金
10：00～17：00
ホームページ
<http://kumamoto-fa.com/>
〔その他〕
参加者にはユニクロ、日
本サッカー協会より参加賞
を差し上げます。
〔チーム応募資格〕
6歳以下の幼児8人～16
人で構成されたチーム（小
学生は不可）
（サッカー経験の有無、男
女は問わない）
〔参加チームの決定〕
参加チームは先着順によ
り決定し、応募数は120チ
ームになり次第締切ります。
〔傷害保険〕
主催者にて行事参加者傷
害保険には加入いたします
が、補償の内容は必ずしも
手厚いものとは言えませ
んので、原則参加選手の負
傷については主催者にて応
急処理のみを行い、それ以外
は各チームの責任といたしま
す。予めご了承ください。
〔競技規則〕
1、試合形式
8人制の試合を各チーム
3試合行う（勝敗の発表
はいたしません）
2、試合時間
前半5分（インターバル
1分）後半5分
3、ピッチサイズ
タッチライン30m×ゴー
ルライン15m
4、ゴール
高さ1m×幅2m
5、ボール
3号スポンジボール（主
催者側で用意します）
6、ユニフォーム ユニク
ロより人数分（半袖）を
当日配布します。当日は
支給されたものをご着用
ください。パンツ、スト
ッキング、シューズ等は
各自ご用意ください。な
お、天候によりですが
半袖では寒いことが予想
されます。ユニホームの
下に着れる長袖のシャツ
等をご用意されることを
お勧めします。
7、審判 運営側で担当し
ます。
8、その他
a、1チームにつき2名
の責任者をおいてくだ
さい。
b、シューズは運動しや
すいものとします。スパ
イクの使用は不可。

第19回 九州レディースサッカー大会

スポーツの森・大津マリノス 5年連続5度目のV

女性のサッカー普及促進及び大会に参加する女性がサッカーを通じて友好と親睦を深め、生涯スポーツとして浸透・発展に寄与することを目的に、今大会19回目を迎えた。

第19回九州レディースサッカー大会は9月1日(土)、2日(日)に長崎県雲仙市百花台総合運動公園で開催され、九州各県から8チームが出場した。

県内からは、第一代表のスポーツの森・大津マリノスと第二代表の城山FCレディースが出場した。

1回戦スポーツの森・大津マリノスは、佐賀代表のFC AL EGRE CAMINHOに8対0で下し準決勝へ進んだ。

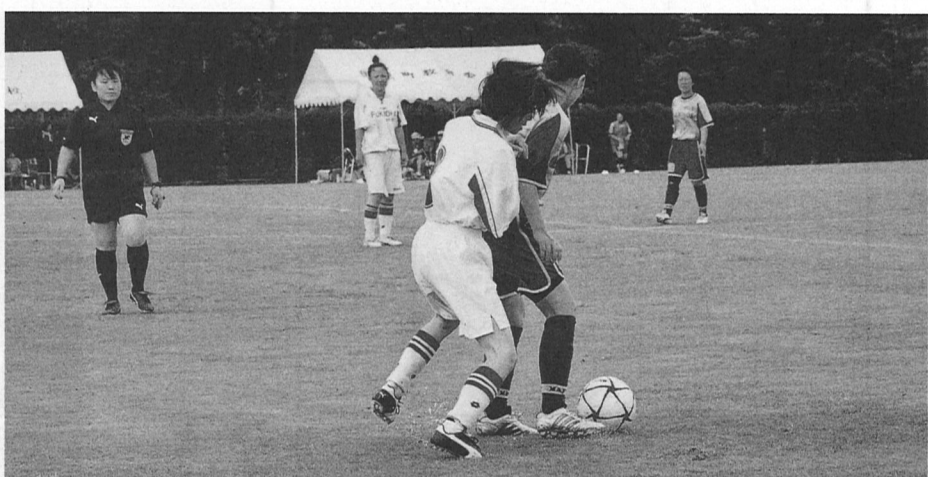
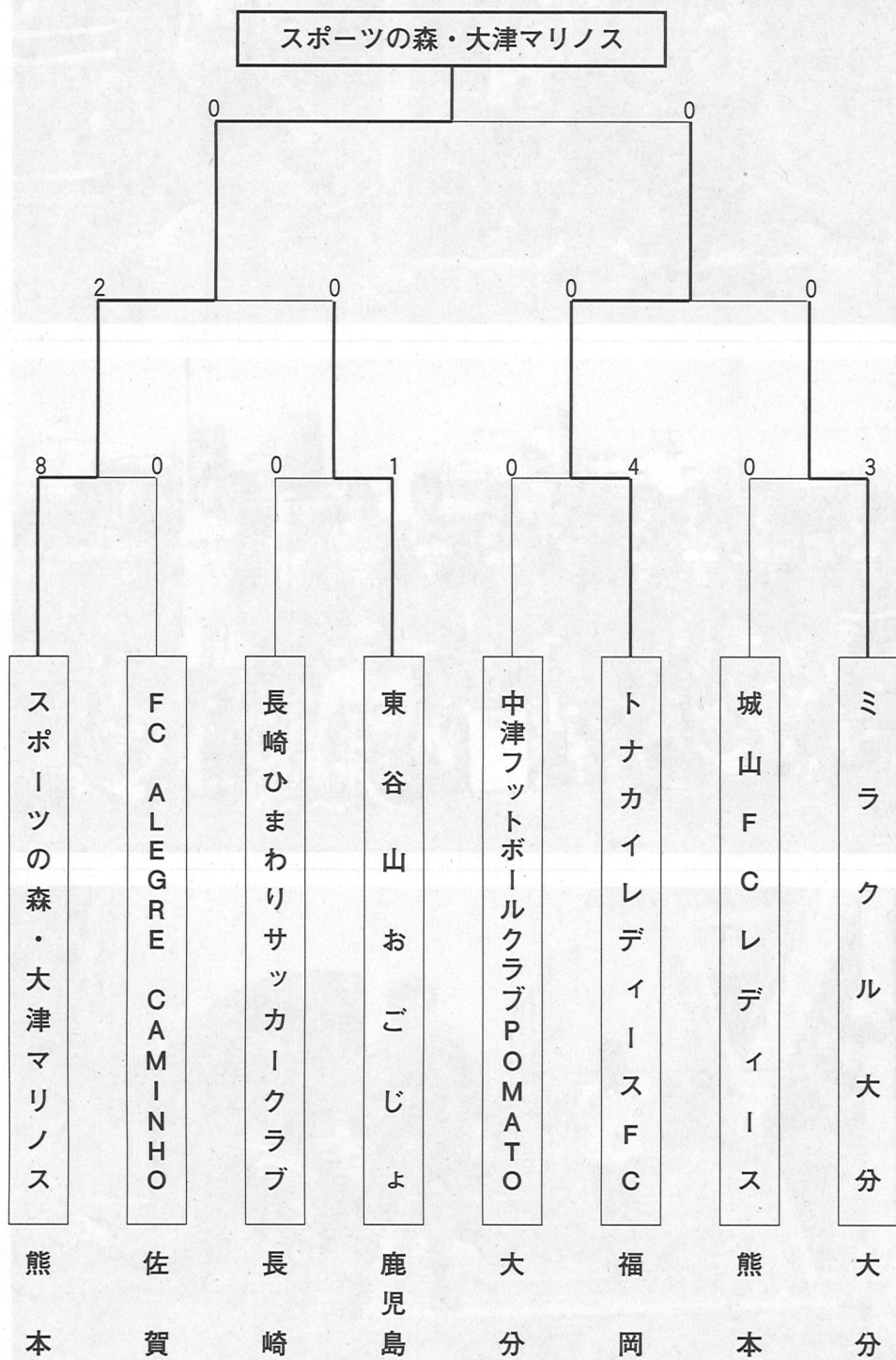
城山FCレディースは、大分県代表のミラクル大分に3対0で敗れた。

準決勝戦は昨年と同様、鹿児島県代表の東谷山おごじょと対戦し、苦戦しながらも2対0で勝利し決勝戦へ進んだ。

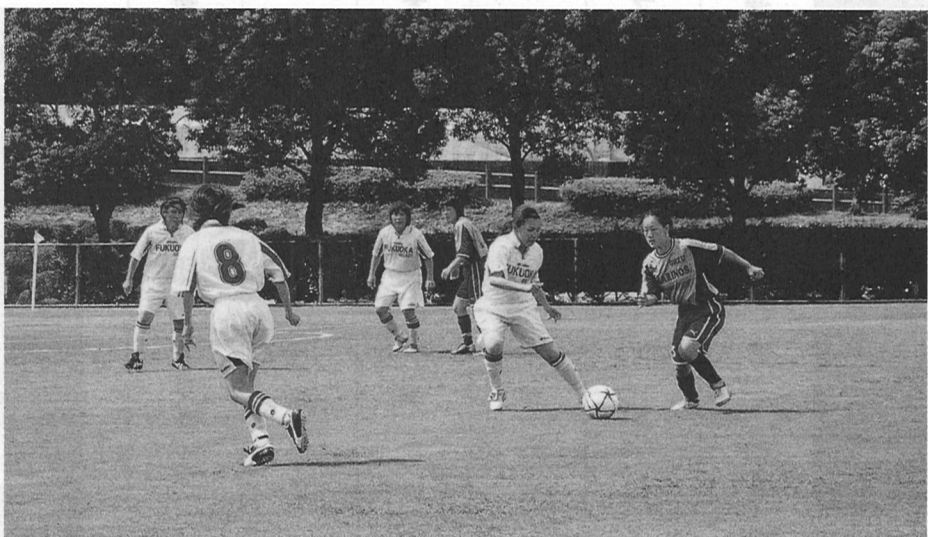
決勝は今大会初出場となる福岡県代表のトナカイレディースFCと対戦し、前後半両チームとも延長戦へと突入したが、両チーム一歩も譲らずPK戦となり、3対2でスポーツの森・大津マリノスが5年連続5度目の優勝で幕を閉じた。

スポーツの森・大津マリノスは11月16日から静岡県で開催される全国大会に出場する。

平成19年度 第19回 九州レディースサッカー大会 組み合わせ・結果



白は福岡対戦チームは熊本のスポーツの森・大津マリノス



第17回熊本県女子ユース(U-12)サッカー選手権大会開かれる

MELSA熊本FC 4度目V

第17回熊本県女子ユース(U-12)サッカー選手権は、9月8日(土)・9日(日)に山鹿カルチャースポーツセンターにて熊本県内から8チームが出場し開催された。

初日は2パートに分かれ、4チームの予選リーグを行い、各パートの上位2チームのプレーオフが行われた。

メルサ熊本と山鹿は12月1・2日に宮崎県で開催される九州大会に出場する。

写真と文 荒木 直子

TKU杯 第26回熊本県女子サッカー選手権大会

熊本ユナイテッド 2年ぶりの優勝



TKU杯第26回熊本県女子サッカー選手権大会の決勝戦は、9月17日の祭日にKKウィング隣の補助競技場で行われた。

決勝戦はメルサ熊本とユナイテッド熊本の戦いとなった。

最初に入れたのはメルサ熊本で追加点もメルサ熊本が入れる。

前半は2-0メルサが優勢に試合を進め、後半に入りユナイテッドは2点を返し同点となり、試合は2-2のまま延長戦にすすみ、0-0のままPK戦に入りようやく決着がついた。

ユナイテッド熊本は2年ぶり優勝を飾った。



JFA プリンスリーグ U-18 九州 2007

<1部>

チーム名	東海大学付属第五高校	アビスパ福岡U-18	大分トリニータU-18	国見高校	筑陽学園高校	東福岡高校	鹿児島実業高校	鹿児島城西高校	鶴翔高校	九州国際大学付属高校	大津高校	ルーテル学院高校	日章学園高校	勝点	得点	失点	得失点差	順位
東海大学付属第五高校		2-3	1-0	2-4	3-1	4-4	2-0	4-2	2-0	2-1	3-1	2-0	25	27	16	11	1	
アビスパ福岡U-18	3-2		1-1	1-2	2-2	3-0	1-1	1-1	2-1	2-0	2-1	3-2	22	21	13	8	2	
大分トリニータU-18	0-1	1-1		3-0	2-0	1-3	1-1	1-0	2-0	6-0	2-2	1-0	21	20	8	12	3	
国見高校	4-2	2-1	0-3		4-3	1-1	1-1	3-0	0-0	3-1	3-3	2-2	20	23	17	6	4	
筑陽学園高校	1-3	2-2	0-2	3-4		4-2	1-1	2-1	2-1	3-1	2-0	1-0	20	21	17	4	5	
東福岡高校	4-4	0-3	3-1	1-1	2-4		0-1	1-2	5-2	3-0	8-4	7-1	17	34	23	11	6	
鹿児島実業高校	0-2	1-1	1-1	1-1	1-1	1-0		4-0	1-2	3-3	2-3	3-2	14	18	16	2	7	
鹿児島城西高校	0-2	1-1	0-1	0-3	1-2	2-1	0-4		2-1	1-2	2-1	3-0	13	14	20	-6	8	
鶴翔高校	2-4	1-1	0-1	0-3	1-2	2-1	0-4	2-1		2-2	2-1	5-4	11	16	23	-7	9	
九州国際大学付属高校	0-2	1-2	0-2	0-0	1-2	2-5	2-1	1-2	2-2		5-1	4-1	11	19	27	-8	10	
大津高校	1-2	0-2	0-6	1-3	1-3	0-3	3-3	2-1	2-2	5-1		0-3	5	17	34	-17	11	
ルーテル学院高校	1-3	1-2	2-2	3-3	0-2	4-8	3-2	1-2	1-2	1-5	3-0		4	15	31	-16	12	
日章学園高校	0-2	2-3	0-1	2-2	0-1	1-7	2-3	0-3	4-5	1-4	3-0							

<2部前期・Aリーグ>

チーム名	大分鶴崎高校	鹿児島実業高校	西原高校	熊本学園大学付属高校	宮崎日本大学高校	佐賀商業高校	勝点	得点	失点	得失点差	順位
大分鶴崎高校		2-2	6-2	2-2	4-1	5-1	11	19	8	11	1
鹿児島実業高校	2-2		4-0	0-0	3-1	4-0	11	13	3	10	2
西原高校	2-6	0-4		3-1	2-0	4-4	7	11	15	-4	3
熊本学園大学付属高校	2-2	0-0	1-3		1-0	2-2	6	6	7	-1	4
宮崎日本大学高校	1-4	1-3	0-2	0-1		4-0	3	6	10	-4	5
佐賀商業高校	1-5	0-4	4-4	2-2	0-4		2	7	19	-12	6

<2部前期・Bリーグ>

チーム名	神村学園高等部	アミエス鹿児島	佐賀東高校	島原商業高校	那覇西高校	嘉穂東高校	勝点	得点	失点	得失点差	順位
神村学園高等部		3-2	2-1	4-1	4-2	4-1	15	17	7	10	1
アミエス鹿児島	2-3		0-0	0-0	1-1	2-0	6	5	4	1	2
佐賀東高校	1-2	0-0		0-1	2-2	2-1	5	5	6	-1	3
島原商業高校	1-4	0-0	1-0		2-2	2-3	5	6	9	-3	4
那覇西高校	2-4	1-1	2-2	2-2		1-1	4	8	10	-2	5
嘉穂東高校	1-4	0-2	1-2	3-2	1-1		4	6	11	-5	6

2部後期 上位リーグ

チーム名	神村学園高等部	佐賀東高校	大分鶴崎高校	アミエス鹿児島	熊本学園大学付属高校	鹿児島実業高校	西原高校	島原商業高校	勝点	得点	失点	得失点差	順位
神村学園高等部		3-0	5-1	1-0	7-1	3-1	7-1	3-0	21	29	4	25	1
佐賀東高校	0-3		1-0	1-0	1-1	3-2	5-0	4-2	16	15	8	7	2
大分鶴崎高校	1-5	0-1		8-0	2-3	2-1	5-1	3-0	12	21	11	10	3
アミエス鹿児島	0-1	0-1	0-8		4-2	2-1	4-0	5-1	12	15	14	1	4
熊本学園大学付属高校	1-7	1-1	3-2	2-4		1-3	2-1	5-1	10	15	19	-4	5
鹿児島実業高校	1-3	2-3	1-2	1-2	3-1		3-0	3-0	9	14	11	3	6
西原高校	1-7	0-5	1-5	0-4	1-2	0-3		4-3	3	7	29	-22	7
島原商業高校	0-3	2-4	0-3	1-5	1-5	0-3	3-4		0	7	27	-20	8

2部後期 下位リーグ

チーム名	那覇西高校	佐賀商業高校	嘉穂東高校	宮崎日本大学高校	勝点	得点	失点	得失点差	順位
那覇西高校		3-1	4-0	5-0	9	12	1	11	1
佐賀商業高校	1-3		2-1	1-2	3	4	6	-2	2
嘉穂東高校	0-4	1-2		3-0	3	4	6	-2	2
宮崎日本大学高校	0-5	2-1	0-3		3	2	9	-7	4

JFA プリンスリーグ 大津高校-ルーテルを破る

平成19年度JFAプリンスリーグU-18九州大会の最後戦は、9月15日(土)熊本県民総合陸上競技場で行われた。

対戦したのは大津高校対ルーテル学院高校で、負けたチームは来年より二部に降下することになっている。

この試合は雨風雷で中止になった因縁の試合である。

結果5対1で大津高校の勝利に終わった。

この試合は技術と体力に勝る大津高校の一方的な試合になった。

大津はよく走り技術も一枚上であつた。



白はルーテル赤は大津高校



第2回 全国ビーチサッカー大会九州予選 沖縄県代表のレキオスFCが優勝

第2回全国ビーチサッカー大会九州予選は、平成19年9月8日(土)・9日(日)に熊本県芦北町御立岬海水浴場で行われた。

9月8日は予選リーグを行い、A・B・Cのグループに分かれて対戦し各組の上位2チームが9月9日の決勝リーグに進めた。

9日の決勝リーグではA・Bのグループに分かれ、各組の一位同士が順位決定戦を行う。この大会はあくまでも全国大会の予選で、優勝したのは沖縄県代表のレキオスFCとなった。

二位はエスベランサ熊本、三位はスコピオンズ、四位はスウェルで、以上が全国大会の出場権を取った。

尚、沖縄代表にはブラジル人が三名ほど入っており、決勝は延長戦の末エスベランサ熊本を破った。

本大会実施要項には、外国籍選手は1チームに4名までは認めるが、ビーチ上にいる選手は2名を超えてはならないと記入してある。

私も初めて見たが、何しろよく走る上、キック等タフな試合となった。

前後半に12分間のブレイクタイム、ビーチサイズは37m×28mである。

役員4名で選手は10名まで登録可能となっており、試合はGKとフィールドプレイヤー4名の計5名で戦う。九州は強くなる。

第2回 全国ビーチサッカー大会2007 九州予選

予選リーグ

チーム名	1	2	3	勝点	得失差	得	失	順位
A								
swell		○ 4-2	○ 4-2	6	4	8	4	1
MSU F. C	× 2-4		○ 6-4	3	0	8	8	2
TFC	× 2-4	× 4-6		0	-4	6	10	3

チーム名	1	2	3	勝点	得失差	得	失	順位
B								
Scorpion's		○ 2-1	○ 3-1	6	3	5	2	1
EST/人間和太鼓	× 1-2		○ 5-3	3	1	6	5	2
なかよし会	× 1-3	× 3-5		0	-4	4	8	3

チーム名	1	2	3	勝点	得失差	得	失	順位
C								
REQUIOSU FC		○ 2-0	○ 7-0	6	9	9	0	1
エスベランサ熊本	× 0-2		○ 4-1	3	1	4	3	2
ESTATE	× 0-7	× 1-4		0	-10	1	11	3

決勝リーグ

チーム名	1	2	3	勝点	得失差	得	失	順位
A								
REQUIOSU FC		○ 4-1	○ 7-2	6	8	11	3	1
Scorpion's	× 1-4		○ 5-0	3	2	6	4	2
EST/人間和太鼓	× 2-7	× 0-5		0	-10	2	12	3

チーム名	1	2	3	勝点	得失差	得	失	順位
B								
エスベランサ熊本		○ 6-1	○ 7-3	6	9	13	4	1
swell	× 1-6		○ 6-5	3	-4	7	11	2
MSU F. C	× 3-7	× 5-6		0	-5	8	13	3

順位決定戦

5・6位決定戦

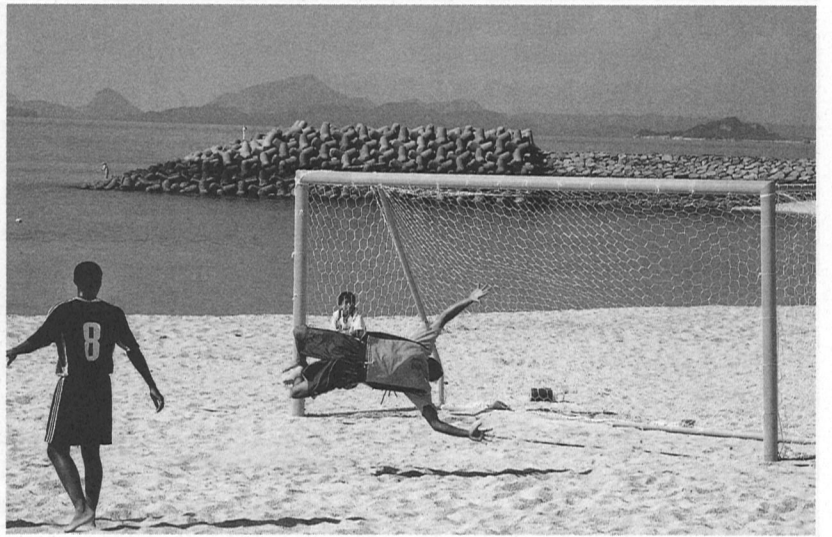
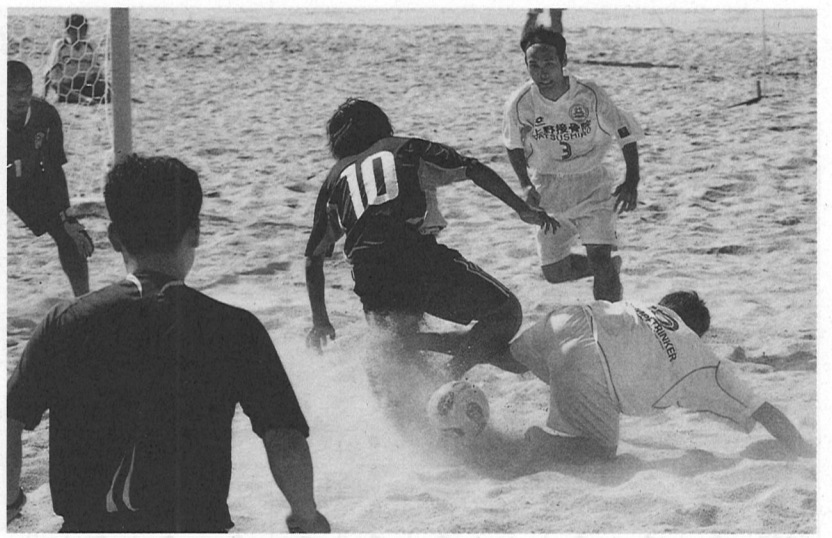
EST/人間和太鼓	5	3-0 2-0	0	MSU F. C
-----------	---	------------	---	----------

3・4位決定戦

Scorpion's	3	1-0 2-4	4	swell
------------	---	------------	---	-------

優勝決定戦

REQUIOSU FC	4	2-2 1-1 1-0	3	エスベランサ熊本
-------------	---	-------------------	---	----------



ペナルティーマークからのキック時の ゴールキーパーの服装について

試合が引き分けに終わり、競技会規定によって勝者を決めるために行う「ペナルティーマークからのキック(以下、「ペナルティー方式」という)が行われる時にゴールキーパー(以下、「GK」という)の着用する服装は、サッカーの競技規則および(財)日本サッカー協会ユニフォーム規程の規定に基づき、通常の試合時間および延長戦と同様、左記のとおりとなります。

記

1、ペナルティー方式時にGKの着用する服装は、次の二つの要件を満たすものとなる。

① 他の競技者、主審および副審と区別のつく色のもの

② その競技者の番号が明確に表示されるもの

2、適用例

ゴールキーピングが得意なフィールドの競技者(以下、「FP」という)にGKを務めさせるなど戦術的な理由でGKとFPが交代する場合、

・FPは、他の競技者や審判員と区別された色で、その競技者の番号が表示された服装を着用し、GKとなる。

3、例外

GKの負傷退場などにより、緊急避難的にFPがGKに代わる場合については、他の競技者等と区別する色の服装であるならば、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない(通常の試合時間内および延長戦も同様)。

(参考条文)

・競技規則 2007/08

第4条

ゴールキーパー

ゴールキーパーは、他の競技者、主審、副審と区別のつく色の服装をする。

・試合またはホームアンドアウェーの対戦の勝者を決定する方法

ペナルティーマークからのキック

進め方

他に記述されていない限り、競技規則または国際評議会の決定の關係事項がペナルティーマークからのキックが行われるときにも適用される。

・(財)日本サッカー協会ユニフォーム規程

・第6条「ユニフォームの選手番号」

1、シャツには、選手番号が明確に表示されているなければならない。

(財)日本サッカー協会審判委員会

委員長 松崎 康弘